

愛知教育大学大学院

学生の確保の見通し等を記載した書類

参 考 資 料

資料 1	大学院の入学者・志願者数の推移	1
資料 2	修士課程に関するアンケート結果 臨床心理学コース	5
資料 3	修士課程 学校教育臨床専攻 入学志願者・入学者の推移 等.....	7
資料 4	修士課程 外国人正規留学生 入学志願者・入学者の推移.....	11
資料 5	修士課程（日本型教育グローバルコース）アンケート.....	12
資料 6	要 望 書（愛知県教育委員会教育長 他）	20

大学院の入学者・志願者数の推移

入学者数の推移

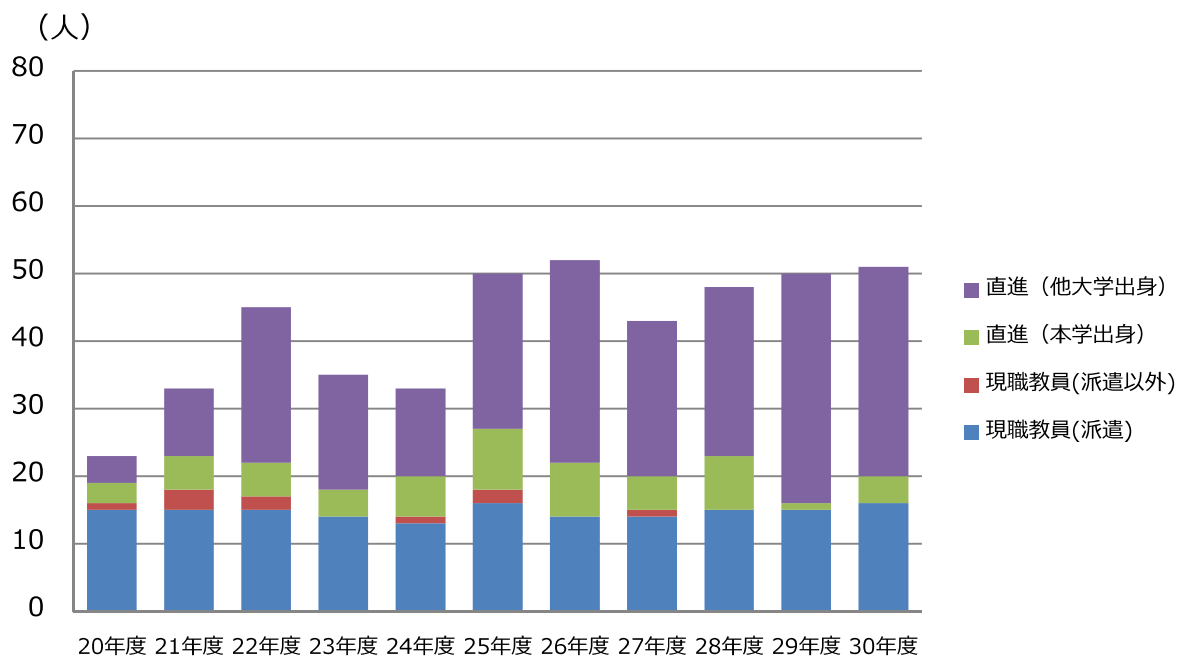


図1－1 教職大学院入学者数

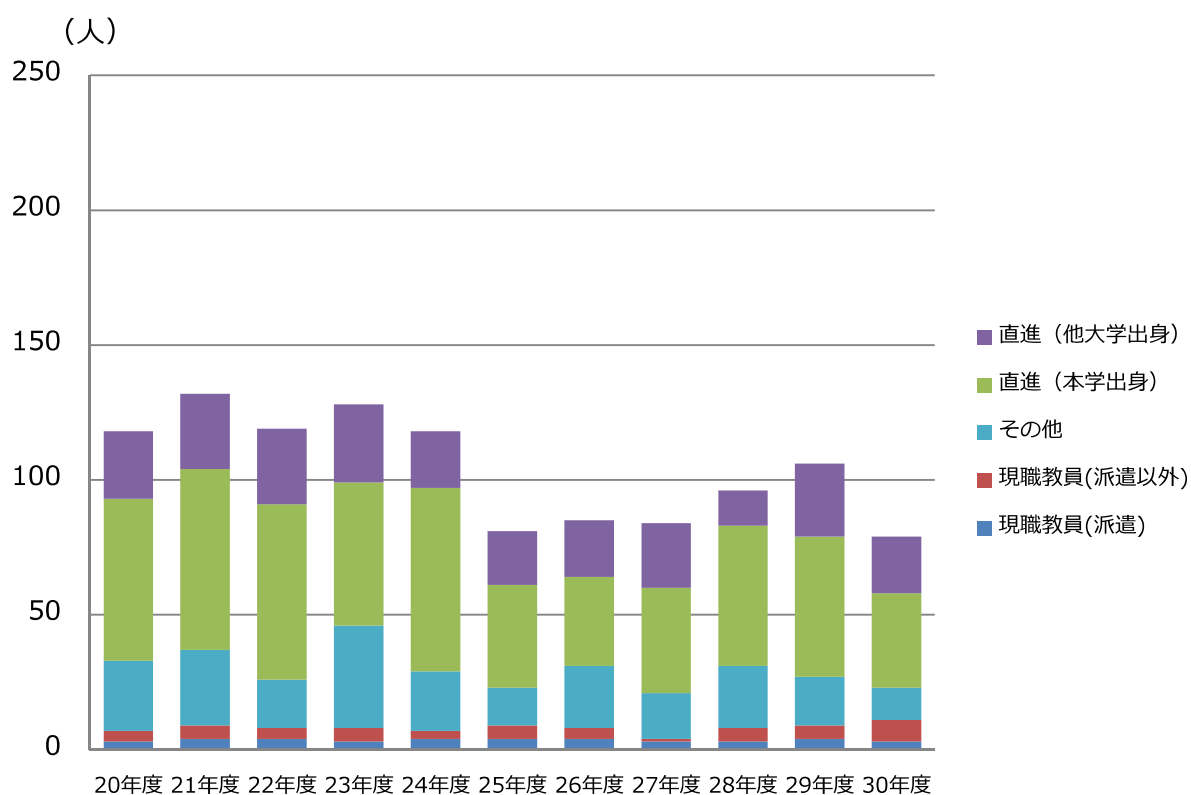


図1－2 修士課程入学者数

②志願者数の推移

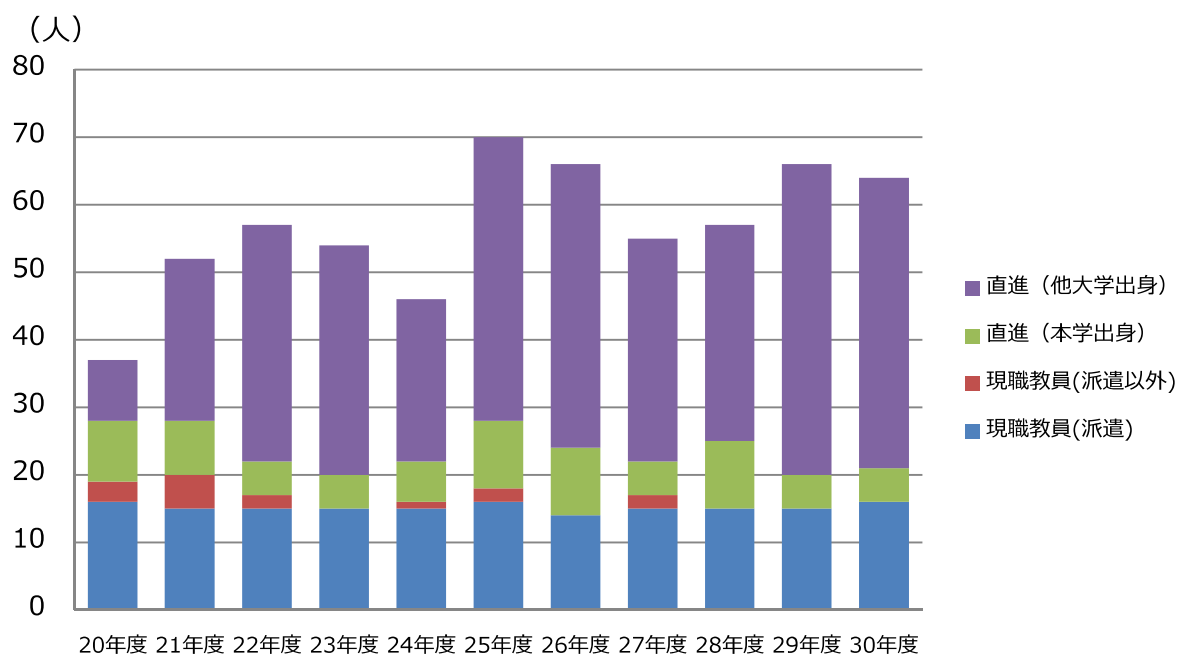


図1－1 教職大学院志願者数

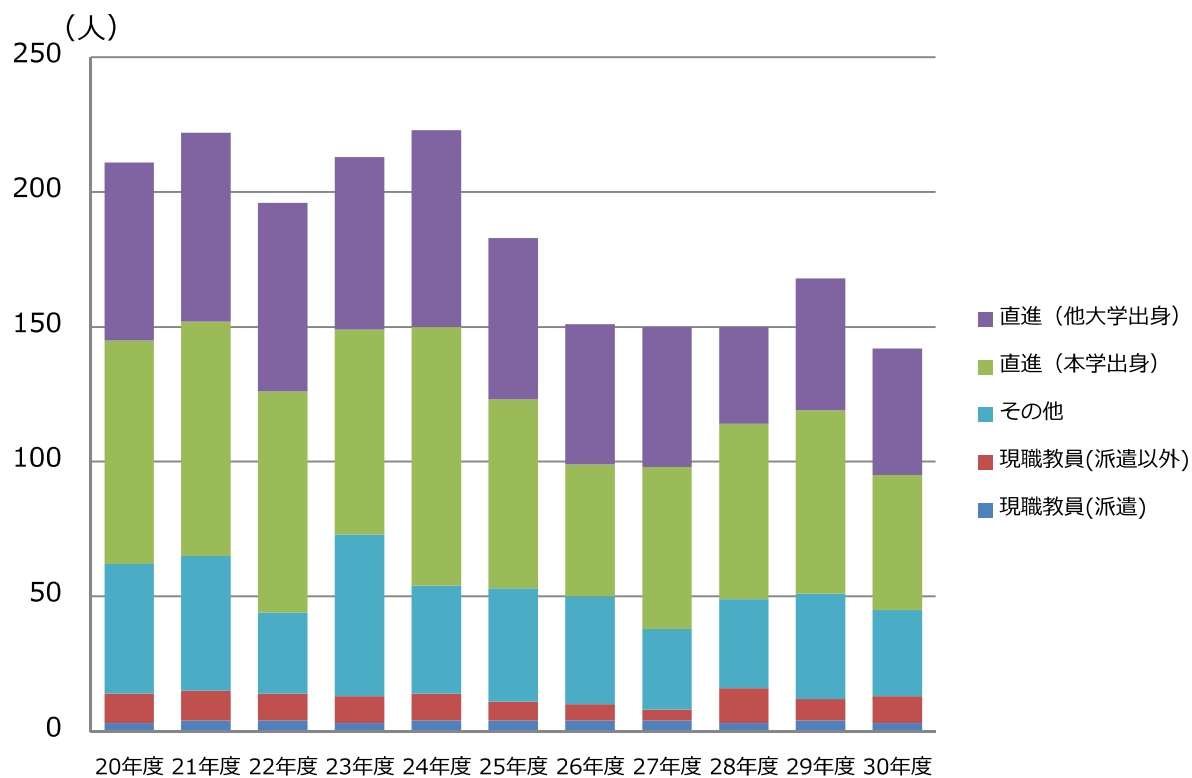


図1－2 修士課程志願者数

愛知教育大学大学院入学者数

(表 1 - 1) 教職大学院入学者数

平成30年4月1日時点

人 年度	現職(派遣)			現職 (派遣以外)	ストレート		計
	愛知県	名古屋市	計		本学出身	他大学出身	
20年度	10	5	15	1	3	4	23
21年度	10	5	15	3	5	10	33
22年度	10	5	15	2	5	23	45
23年度	10	4	14	0	4	17	35
24年度	9	4	13	1	6	13	33
25年度	11	5	16	2	9	23	50
26年度	9	5	14	0	8	30	52
27年度	10	4	14	1	5	23	43
28年度	10	5	15	0	8	25	48
29年度	10	5	15	0	1	34	50
30年度	10	6	16	0	4	31	51
計	109	53	162	10	58	233	463

(表 2 - 2) 修士課程入学者数

平成30年4月1日時点

人 年度	現職 (派遣)	現職 (派遣以外)	直進			その他	計
			本学出身	他大学出身			
20年度	3	4	60	25	85	26	118
21年度	4	5	67	28	95	28	132
22年度	4	4	65	28	93	18	119
23年度	3	5	53	29	82	38	128
24年度	4	3	68	21	89	22	118
25年度	4	5	38	20	58	14	81
26年度	4	4	33	21	54	23	85
27年度	3	1	39	24	63	17	84
28年度	3	5	52	13	65	23	96
29年度	4	5	52	27	79	18	106
30年度	3	8	35	21	56	12	79
計	32	40	435	204	639	185	896

愛知教育大学大学院志願者数

(表 1 - 1) 教職大学院志願者数

平成30年4月1日時点

人 年度	現職(派遣)			現職 (派遣以外)	ストレート		計
	愛知県	名古屋市	計		本学出身	他大学出身	
20年度	11	5	16	3	9	9	37
21年度	10	5	15	5	8	24	52
22年度	10	5	15	2	5	35	57
23年度	10	5	15	0	5	34	54
24年度*	10	5	15	1	6	24	46
25年度	11	5	16	2	10	42	70
26年度	9	5	14	0	10	42	66
27年度	10	5	15	2	5	33	55
28年度	10	5	15	0	10	32	57
29年度*	10	5	15	0	5	46	66
30年度	10	6	16	0	5	43	64
計	111	56	167	15	78	364	624

*24年度より推薦入試導入、29年度より推薦枠変更(各学校2名→各学部2名)

(表 2 - 2) 修士課程志願者数

平成30年4月1日時点

人 年度	現職 (派遣)	現職 (派遣以外)	直進			その他	計
			本学出身	他大学出身			
20年度	3	11	83	66	149	48	211
21年度	4	11	87	70	157	50	222
22年度	4	10	82	70	152	30	196
23年度	3	10	76	64	140	60	213
24年度	4	10	96	73	169	40	223
25年度	4	7	70	60	130	42	183
26年度	4	6	49	52	101	40	151
27年度	4	4	60	52	112	30	150
28年度	3	13	65	36	101	33	150
29年度	4	8	68	49	117	39	168
30年度	3	10	50	47	97	32	142
計	33	78	616	503	1119	346	1576

修士課程に関するアンケート結果

臨床心理学コース

○対象：本学学部教育支援専門職養成課程2年生（新3年生）の教務ガイダンス受講者（3月28日実施）

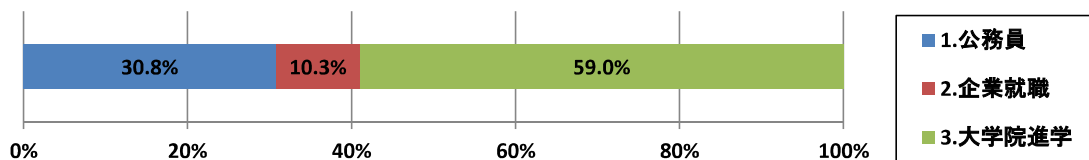
○回答数：118人（対象者138人）

質問1 所属コース

	(人)
1.心理コース	39

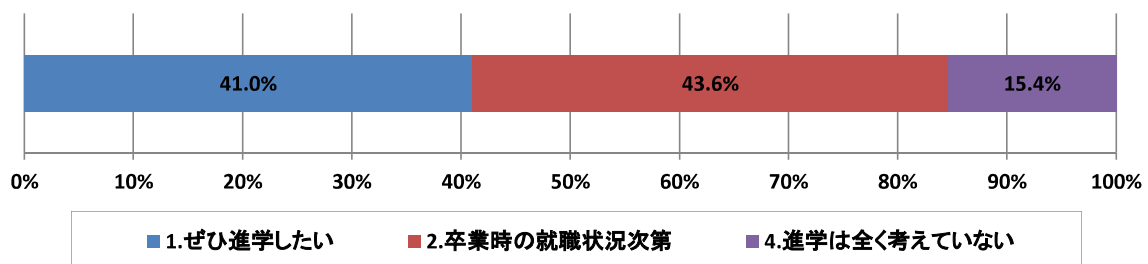
質問2 大学卒業後の進路

	(人)
1.公務員	12
2.企業就職	4
3.大学院進学	23
4.その他	0
無回答	0



質問3 「新しい修士課程」に進学したいと思いますか

	(人)
1.ぜひ進学したい	16
2.卒業時の就職状況次第	17
3.就職して、一定の経験を積んでから	0
4.進学は全く考えていない	6
無回答	0



修士課程 学校教育臨床専攻 入学志願者・入学者数の推移

単位:人

区 分	入学 定員	H27	H28	H29	H30	H31	平均
入学志願者	8	34	29	42	47	49	40.2
入学者		13	13	11	12	9	11.6

修士課程 学校教育臨床専攻修了後の臨床心理士合格率

年度	受験者	合格者	合格率	(参考) 試験全体 合格率
平成26年度	13人	10人	76.9%	60.4%
平成27年度	12人	10人	83.3%	61.8%
平成28年度	9人	8人	88.9%	62.9%
平成29年度	12人	11人	91.7%	65.5%
平成30年度	15人	13人	86.7%	63.6%

※既修了者も含む。

※試験全体合格率の推移は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会のホームページを参照した。

なごや子ども応援委員会職員数の変遷

	平成26（2014）	27（2015）	28（2016）	29（2017）	30（2018）年度
スクールカウンセラー	11	22	36	58	84
スクールソーシャルワーカー	11	13	17	18	20
スクールアドバイザー	11	11	11	11	11
スクールポリス	11	11	11	11	11
合計	44	57	75	98	126

（出典）なごや子ども応援委員会に関する調査研究
「名古屋市における学校援助職の常勤化」～抄～

産業種別就職者数(大学院:学校教育臨床専攻)

単位:人

区分	学校教育 (SC)	その他の 教育、学習 支援事業	医療、 保健衛生	社会保険・ 社会福祉・ 介護事業	地方公務 (心理職)	進学	その他	修了者数
平成26年度			6		2		1	9
平成27年度			8	1	1	1		11
平成28年度	2		7		2		1	12
平成29年度	6				5	1		12
平成30年度	4	1	3		4			12

修士課程 外国人正規留学生 入学志願者・入学者数の推移

単位：人

区分 \ 年度		H27	H28	H29	H30	H31	平均
入学志願者		7	7	12	5	15	9.2
入学者		7	6	9	5	15	8.4
国別	中国	4	4	3	4	11	5.2
	カンボジア	2	2	2	1	2	1.8
	ミャンマー	0	0	1	0	1	0.4
	モンゴル	0	0	2	0	0	0.4
	台湾	1	0	1	0	0	0.4
	インドネシア	0	0	0	0	1	0.2

愛知教育大学大学院修士課程教育支援高度化専攻（日本型教育グローバルコース） 設置に向けたアンケート（学術交流協定校用）

＜アンケートのお願い＞

このアンケートは、愛知教育大学が計画している新しい修士課程についてのご意見をうかがうものです。

本学では、2020年4月に、外国人留学生を受け入れ、日本型教育システムを学ぶ「教育支援高度化専攻 日本型教育グローバルコース（仮称）」の開設を目指しています。このコースの目的は、修了後に母国において、教育現場の教員・指導者や教員養成機関の教育者・研究者等として、実践的指導力を発揮して精力的に活躍できる人材を育成することです。そして、このコースの特徴は以下のとおりです。

- 国際的に高く評価されている、日本型教育システム（教育方法、教科内容・指導法、教材開発等）を広く学び、それを自国教育へ応用し得る教育者・研究者の育成を目指します。
- 日本の学校現場にも出向き、授業観察や授業研究にも参加し、実践的な指導力を養います。
- 入学時に日本語能力は問わず、留学生の希望により、英語を使用した授業や修士論文指導にも対応します。
- 入学料、授業料等の減免制度や奨学金制度を活用することもできます。

本計画の検討にあたり、皆様のご意見をお聞きし、参考にしたいと考えています。お手数をおかけしますが、下記アンケートへのご協力をお願い致します。なお、国（機関）ごとにデータを集計する必要から記載責任者の氏名をご記入いただきますが、回答結果による不利益を被ることは一切ありません。ありのままのご意見をおきかせください。回答は、各設問の指示にしたがって下さい。

2019年1月 国立大学法人愛知教育大学長 大学院改組準備室

1. 日本型教育システムについてお聞きします。

質問1 貴国の学校現場において、【教材研究→公開授業→授業検討会】などの授業研究サイクルに代表される日本型教育システムを導入・活用することは有効だと考えますか。（あてはまる番号1つに○）

- ①. とても有効だと考える 2. 有効だと考える 3. ある程度有効だと考える
4. 有効だと思わない 5. わからない

質問2 問1で1～3を回答した場合、日本に留学し実践的に日本型教育システムを学ぶことが有効だと考えられる教科は何ですか？（あてはまる番号に○ 複数回答可）

- ①. 数学 ②. 理科 3. 国語（日本語） ④. 社会 5. 英語
6. 音楽 7. 美術 8. 体育 ⑨. 技術 10. 家庭 ⑪. その他（Health Education）

2. 愛知教育大学が設置を計画している修士課程教育支援高度化専攻（日本型教育グローバルコース）についてお聞きします。

質問3 貴機関の学部学生で、日本型教育システムを深く学びたい者に向けて、愛知教育大学大学院修士課程教育支援高度化専攻日本型教育グローバルコースへの進学を勧めますか（あてはまる番号1つに○）

1. 積極的に勧める (2.) 勧める 3. 勧める可能性はある 4. 勧めない 5. わからない

質問4 問3で1から3を回答した場合に伺います。年（又は複数年）当たり貴機関から何人くらいの進学が見込まれますか？

(2) 人/ 1 年)

質問5 その他、愛知教育大学の大学院に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

I would like Aichi University of Education to provide doctoral scholarship to trainers of our institution (NIE) because AUE is very good university in Japan to educate teachers and NIE will train high school teacher "master +1".

記載責任者

機関名 (国名) National Institute of Education (Cambodia)

役職

Director

氏名

Sieng Sovanna

*アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

対象者：モンゴル国立教育大学 初等教育学部学生 2、3 年生（165 名）

1. 日本型教育システムについてお聞きします。

質問 1 貴国の学校現場において、【教材研究→公開授業→授業検討会】などの授業研究サイクルに代表される日本型教育システムを導入・活用することは有効だと考えますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. とても有効だと考える-41 人（25%）
2. 有効だと考える -71 人 （43%）
3. ある程度有効だと考える-52 人 （31%）
4. 有効だと思わない-0
5. わからない-1 人

質問 2 問 1 で 1～3 を回答した場合、日本に留学し実践的に日本型教育システムを学ぶことが有効だと考えられる教科は何ですか？（あてはまる番号に○ 複数回答可）

1. 数学-82 人
2. 理科-51 人
3. 国語（日本語）-122 人
4. 社会-63 人
5. 英語-76 人
6. 音楽-23 人
7. 美術-47 人
8. 体育-23 人
9. 技術-41 人
10. 家庭-30 人
11. その他（文化 2 人、心理学、エティック ）

2. 愛知教育大学が設置を計画している修士課程教育支援高度化専攻（日本型教育グローバルコース）についてお聞きします。

質問 3 愛知教育大学が設置を計画している大学院修士課程日本型教育グローバルコースに進学したいと思いますか（あてはまる番号 1 つに○）

1. 是非進学したい -89 人（54%）
2. 進学したい -52 人 （31%）
3. 進学する可能性はある -23 人 （14%）
4. 進学したくない -0
5. わからない -1 人

質問 4 その他、愛知教育大学の大学院に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

- 学生の私たちにこういうコースについてもっと詳しく知らせてほしいです。29 人
- 奨学金があったらいいですね。23 人
- 学生寮がありますか。15 人
- 言葉の問題をどう解決しますか。勉強したいです。11 人
- 日本語を勉強したいです。日本語を教えてほしいです。8 人
- 本当に勉強したい学生を応援してください。8 人
- 日本で教授法を勉強したいです。4 人
- 成績のいい学生を応援してください。4 人
- このコースを実現してほしいです。4 人
- 英語で授業を受けたいです。3 人
- 愛教大はどんな大学ですか。教えてください。3 人
- 指導法だけを勉強したくはないです。3 人
- 日本に留学したいです。3 人
- 日本の学校の授業見学・授業研究の勉強をしたいです。2 人
- 留学するにはどのような条件がありますか。教えてください。2 人
- アルバイトができますか。教えてください。2 人
- 2 大学間の交流をもっと深めてほしいです。2 人
- 留学して人は日本で学んだことをモンゴルでぜひ生かしたいです。
- 本当に日本で勉強したいです。でも、言葉の問題、授業料が払えないなどのトラブルがあります。そういうことを配慮してほしいです。
- 応援しています。留学したい学生が多いと思います。
- 本コースは有効だと考えます。
- 能力のある人材を是非受け入れてほしいです。
- 留学できるいろいろなチャンスをつくってほしいです。
- 日本でしか勉強できない色々なことを勉強したいです。
- 日本の文化を理解したいと思います。

対象者：モンゴル国立教育大学 社会人文学部学生 2、3 年生（164 名）
（内訳：日本語教師クラス 23 名、英語クラス 48 名、歴史 93 名）

1. 日本型教育システムについてお聞きします。

質問 1 貴国の学校現場において、【教材研究→公開授業→授業検討会】などの授業研究サイクルに代表される日本型教育システムを導入・活用することは有効だと考えますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. とても有効だと考える-53 人（32%）
2. 有効だと考える -54 人（33%）
3. ある程度有効だと考える-52 人（32%）
4. 有効だと思わない-2 人（0.01%）
5. わからない-3 人（0.02%）

質問 2 問 1 で 1～3 を回答した場合、日本に留学し実践的に日本型教育システムを学ぶことが有効だと考えられる教科は何ですか？（あてはまる番号に○ 複数回答可）

1. 数学-20 人
2. 理科-31 人
3. 国語（日本語）-100 人
4. 社会-71 人
5. 英語-64 人
6. 音楽-22 人
7. 美術-36 人
8. 体育-14 人
9. 技術-42 人
10. 家庭-14 人
11. その他（歴史-26 人、機械工学、デザイナー、特別支援教育-2 人、コンピューター、観光）

2. 愛知教育大学が設置を計画している修士課程教育支援高度化専攻（日本型教育グローバルコース）についてお聞きします。

質問 3 愛知教育大学が設置を計画している大学院修士課程日本型教育グローバルコースに進学したいと思いますか（あてはまる番号 1 つに○）

1. 是非進学したい -83 人（52%）
2. 進学したい -56 人（35%）
3. 進学する可能性はある -15 人（0.09%）
4. 進学したくない -4 人（0.02%）
5. わからない -1 人

質問 4 その他、愛知教育大学の大学院に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

- こういうコースについて、学生の私たちに知らせて（公開）ほしいです。（8 人）
- 奨学金があったらいいですね。8 人
- 留学するとしたら、成績に制限がありますか。4 人
- 修士課程で勉強できるようになったらいいな。多くの人が日本で勉強したいと思っている。財政的には私には無理ですから、色々奨学金などがあったらいいな。2 人
- 奨学金があったほうがいいです。2 人
- 授業料・奨学金について詳しく知りたいです。2 人
- 世界的に認められる学力のある人材を日本で育てていると聞いたのでぜひ留学したいです。
- これから勉強してぜひ留学したいです。
- 日本の文化、教育システムなどについて勉強したいです。帰国してモンゴルで活躍したいです。
- できるだけ多くの人が日本で勉強したほうが良いと思う。
- 色々支援があったらいいな。
- 修士課程で勉強できるようになるといいなあ。
- 英語で勉強できたらいいなあ。
- 日本語で授業を受けたいです。
- 英語クラスの私たちには日本で勉強できるいいチャンスですね。
- 日本の教育システムについて勉強して、さらにモンゴルにあう、モンゴル風な教育システムを考えたほうが良い。2 人
- 大学院生として日本で勉強したいです。（2+2）
- 技術や理系の学生が留学して勉強したほうが良いかな。
- 留学するとしたら、資格・条件が厳しいのでこまるときがある。支援をお願いします。
- 年齢に制限がありますか。
- 教師教育分野だけではないほうが良い。
- ぜひ日本で学びたいです。
- 学部が終わったらすぐに留学できたらいいね。
- 自分の専門をさらに深めるため日本で勉強したいです。
- （修士・博士）の交換留学制度があったらいいなあ。歴史も勉強したいです。
- 今からでもモンゴルで留学のために日本語や英語を勉強したいです。
- 留学の前にモンゴルで英語と日本語を勉強したほうが良い。

**対象者：モンゴル国立教育大学 理系学部（数学・理科・情報）学生
2、3年生（119名）**

1. 日本型教育システムについてお聞きします。

質問 1 貴国の学校現場において、【教材研究→公開授業→授業検討会】などの授業研究サイクルに代表される日本型教育システムを導入・活用することは有効だと考えますか。（あてはまる番号1つに○）

- 1. とても有効だと考える - 39人（33%）
- 2. 有効だと考える - 47人（39%）
- 3. ある程度有効だと考える - 28人（23%）
- 4. 有効だと思わない - 2人（0.01%）
- 5. わからない-3人（0.02%）

質問 2 問1で1～3を回答した場合、日本に留学し実践的に日本型教育システムを学ぶことが有効だと考えられる教科は何ですか？（あてはまる番号に○ 複数回答可）

- 1. 数学-56人
- 2. 理科-59人
- 3. 国語（日本語）-59人
- 4. 社会-18人
- 5. 英語-36人
- 6. 音楽-7人
- 7. 美術-15人
- 8. 体育-19人
- 9. 技術-22人
- 10. 家庭-8人
- 11. その他（法律、IT、日本文化）

2. 愛知教育大学が設置を計画している修士課程教育支援高度化専攻（日本型教育グローバルコース）についてお聞きします。

質問 3 愛知教育大学が設置を計画している大学院修士課程日本型教育グローバルコースに進学したいと思いますか（あてはまる番号1つに○）

- 1. 是非進学したい - 53人（44%）
- 2. 進学したい - 38人（32%）
- 3. 進学する可能性はある - 26人（22%）
- 4. 進学したくない - 1人
- 5. わからない -1人

質問 4 その他、愛知教育大学の大学院に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

- 奨学金があったらいいと思います。4 人
- このコースについてもっと詳しい情報を教えてください。6 人
- このコースを是非設置してほしいです。極めて有効だと思います。3 人
- 愛知教育大学で大学院生として勉強したいです。2 人
- 詳しいパンフレットがほしいです。
- 成績の良い学生に奨学金があったらいいと思います。
- 奨学金があったら、より多くの学生が日本で勉強できると思います。
- 財政的にこまる学生を支援してほしいです。
- 留学してもっと色々なことを学びたいです。アルバイトもできたらいいと思います。
- 留学するための条件があれば教えてほしいです。
- 化学を日本で勉強したいです。
- 日本語、IT、植物などを勉強したいです。
- 日本語を勉強したいです。
- 英語で授業を受けたいです。
- 理科の学生が自分の興味のあることを研究するチャンスがあったらいいですね。

愛知教育大学

学長 後藤ひとみ 様

愛知県教育委員会教育長



これからの学校現場に求められる人材を育成するための
愛知教育大学大学院への要望について

春陽の候ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本県の教育行政の推進に御協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、グローバル化、情報化の進展等、世の中が急速に変化する中であって、こうした状況変化を踏まえた新しい時代の教育に対応し、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育が学校で展開されるよう環境を整えていく必要があります。本県では平成28年2月に「あいちの教育ビジョン2020」を策定し、「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現を基本理念に、そのための県としての取組と施策を示しました。

一方で、近年、教職を希望する学生は減り続けるとともに、教員の大量退職・大量採用等の影響によって、年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、従来の学校組織において自然に行われてきた先輩教員から若手教員への知識・技術等の伝承が困難となるなど、教員を巡る環境は深刻な状況にあります。

今後の課題として、教職をより魅力あるものとしていくことが必要であり、そのためには多忙化の解消とともに、教職生活の全体を通じた教員の資質・能力の向上が求められます。また、教員の養成・採用・研修の各段階において、大学と教育委員会が連携し、教員のキャリアステージに応じた学びや成長を促していく必要があります。本県では、平成29年11月に「愛知県教員育成指標」を策定し、キャリアステージに応じて、教員一人一人が発揮したい資質・能力を明確にするとともに、この指標に基づいて毎年度、教員研修計画を策定・実施することとしました。

ついては、貴学におかれましても、教職に対する強い思いを持ち、指導力に優れ、人間性豊かな人材の養成に、これまで以上に積極的に取り組んでいただくとともに、下記のようなこれからの学校現場に求められる人材を育成するため、貴学大学院における教育内容の一層の充実を図っていただきますようお願いいたします。

記

- 1 社会から尊敬・信頼される教員、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を有する教員、困難な課題に同僚と協働し地域と連携して対応する教員、探求



力を持ち学び続ける教員の育成

- 2 教職に対する強い情熱と責任感を持ち、指導力に優れ、人間性の豊かな教員の育成
- 3 学校マネジメントに関する高度な専門的知識とマネジメント力を備えたリーダーとしての教員の育成
- 4 高度な専門的知識に基づいた実践力を備えた教員の育成
- 5 生徒指導やキャリア教育、個に応じたきめ細かな指導、特別支援教育、安全教育など、子どもたちの発達や成長を支える多様な取組を先導する教員の育成
- 6 現代的教育課題である情報活用能力や愛知県における重要な課題である外国人児童生徒等の教育等、社会の変化に対応できる能力を備えた教員の育成
- 7 「チーム学校」として教員をサポートする学校職員（スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校事務職員）の中心的役割を担うことのできる人材（リーダー）の育成

担 当 教職員課（上野）

電 話 052-954-6768（ダイヤルイン）

FAX 052-954-6961

平成31年4月10日

愛知教育大学

学長 後藤 ひとみ 様

名古屋市教育委員会
教育長 鈴木 誠二



新しい大学院における要望について

平素より名古屋市の教育行政にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、学校や教職員を取り巻く状況については、知識基盤社会の到来と情報通信技術の急速な発展、社会・経済のグローバル化や少子高齢化の進展などの社会状況の大きな変化に対応するために「主体的で深い学びができる資質・能力の育成」や「学校教育の改善・充実の好循環を生み出すカリキュラム・マネジメント」の実現等、新たな学習指導要領による教育の質の向上が求められています。

しかしながら、教員の大量退職・大量採用による年齢構成や経験年数の不均衡により、教員間の知識や技術の伝承が困難な状況です。

名古屋市教育委員会では、高度な専門的知識に基づいた実践力のある教職員の養成・育成のための方策として、貴学との連携に基づき教職員研修等を進める所存ではありますが、下記のとおり貴大学院における抜本的な強化を要望します。

記

○ 学び続ける教職員への対応

「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子」の育成を目指し、教育の取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくためには、社会からの尊敬・信頼を受ける教職員、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を有する教職員、困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応する教職員が必要です。また、教職員生活全体を通じて、実践的指導力等を高めるとともに、社会の急速な進展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要です。このような状況を勘案し、教職員が探究力をもち、学び続けることができるようにしていただきたい。

○ 新しい学習指導要領への対応

新しい学習指導要領では、目の前の子どもたちが次代を切り拓くために、教員がこれまでの教科教育等の実践や蓄積と向き合い、日々の学びがもっている大きな意味を子どもたちに伝え、学びの充実を図ることが求められています。このような状況を勘案し、教員には、より高度な専門的知識に基づいた実践力が身に付くようにしていただきたい。

○ 教職大学院における教科領域への対応

新しい学習指導要領では、子どもたちに必要な資質・能力を育んでいくためには、各教科等での学びが、一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのようにつながっているのかを見据えながら、各教科等をなぜ学ぶのか、それを通じてどういった力が身に付くのかという、教科等を学ぶ本質的な意義を明確にした上で、教科等を越えたつながりが期待されています。このような状況を勘案し、従来の修士課程ではなく、実践力を高度化する教職大学院において教科領域の改編に取り組んでいただきたい。

○ 発達の段階や子どもの学習課題等への対応

子どもたちの資質・能力の育成に当たっては、子ども一人一人の興味や関心、発達や学習の課題等を踏まえ、それぞれの個性に応じた学びを引き出し、一人一人の資質・能力を高めていくことが重要です。このような状況を勘案し、各学校における、生徒指導やキャリア教育、個に応じた指導や、特別支援教育、日本語の能力に応じた支援など、子ども一人一人の発達や成長を支える多様な取組を先導する人材の育成に取り組んでいただきたい。

○ 今日的教育課題や地域固有課題への対応

子どもが社会の変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められています。このような状況を勘案し、教員には、現代的教育課題である情報活用能力や日本語指導を必要とする児童生徒等の課題に対応できる能力向上に取り組んでいただきたい。

○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校事務職員のリーダー育成への対応

本市においては、学校において教員だけでは十分に解決することのできない課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校事務職員などの役割がますます大きくなってきています。「チーム学校」として教員をサポートする体制強化のためにも中心的役割を担うことのできる人材が求められており、高度な専門的知識に基づいた実践力の育成に取り組んでいただきたい。

○ グローバル人材の養成への対応

本市においては、「ナゴヤ子ども応援大綱」に基づいて、グローバル社会で活躍できる人材の育成を促進しています。

貴学におかれても、積極的に外国人留学生を受け入れ、市内の学校において、子どもたちとの交流を積極的に実践していただきたい。